



新型コロナウイルスのもとで Part2 ~こんな工夫・取り組みをしてきました(会務編)~

〈vol.5〉

オンライン交流会

会員 松木 裕 (67期)

中小企業法律支援センターは、弁護士側から中小企業に積極的にアプローチをして法的課題の解決を支援するアウトリーチ活動に取り組んでいる。その活動の一環として他士業との間で定期的な交流を図っているが、新型コロナウイルスの感染拡大によって、対面による交流を断念してオンラインツールを用いた交流が多くなった。

そのような場合に利用するオンラインツールはZoomが多いが、コミュニケーションの方法や印象等は、やはり対面による場合と異なることは否定できない。現に、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて弁護士1名と他士業1名合計2名を1グループとして交流会を開催したことがある。その交流会は

盛況のうちに終わったが、交流会開催後、もう少し自由に、自身が希望する相手と交流を図りたいという感想があった。

管理者が一方向的に相手や時間等を指定するZoomのブレイクアウトルームでは自由な交流が難しいということで、別のオンラインツールを検討すると、「SpatialChat」というオンラインツールが候補にあがった。

「SpatialChat」は、2次元の仮想空間内に参加者のアイコンが表示され、参加者がそのアイコンを動かして、他の参加者のアイコンに近づくとお互いの声が聞こえるようになり、逆に距離が離れると声が聞こえなくなるなど、他のオンラインツールとは異なり、より対面に近い形でコミュニケーションを図ることが可能となり、自身が希望する相手と交流を図りたいというニーズも満たすことができる。

令和4年以降になる見込みであるが、本稿執筆時点(令和3年10月)において「SpatialChat」を利用した企画開催を検討している。当会の会員のみならずも参加できるよう検討を重ねているため、企画が実現した場合は是非参加をして、試行錯誤を重ねた企画の感想を率直に聞かせてほしい。



こちらから読んでね

年明け

